徴　収　猶　予

※ 印の箇所は該当のものを〇で囲むこと。該当箇所はすべて正確に記入すること。記入内容が虚偽であったり，該当箇所の記入漏れ等が大量にある場合は授業料免除申請を受け付けれない場合があります。また，内容について大学より問い合わせを行う場合があります。

（様式4）

令和３年度後期分

家　庭　状　況　調　書

①学籍番号・学年		回生	②所属	※ 柏原 ・ 天王寺

フリガナ		④ 専攻等 ※□は✔を，該当するものには〇をつけ，専攻・ｺｰｽは記入してください。	□初等教育（ 幼児・小学校 ）専攻【 昼間・夜間５年・３年次編入 】ｺｰｽ
③氏名			□第二部（ １年次 ・ ３年次編入 【 Ｂ組 ・ Ｃ組 】） □養護教諭教員養成課程
			□学校教育教員養成課程（ ）専攻【 】ｺｰｽ □特別支援教育教員養成課程
			□教育協働学科 ・ 教養学科（ ）専攻【 】ｺｰｽ □特別支援教育特別専攻科
⑤休学期間 自 年 月			□大学院 教育学研究科【 】専攻 □大学院 連合教職実践研究科
至 年 月		⑥本人現住所	〒 ※ 自宅 ・ 学寮 ・ 下宿 ・ その他　ＴＥＬ （ ）
【休学理由】		⑦家族住所	〒 ＴＥＬ （ ）

⑧家族状況（生計を同じくする家族は全員記入してください。）主たる家計支持者に◎印，従たる家計支持者に〇印，別居者に×印をしてください。
※家計支持者である「父母又は父母の代わりに家計を支える者」とし，収入の多い方を「主」，収入の少ない方を「従」とする。
（#1）給与所得とは（給与・賃金・賞与・報酬・専従者給与・パート収入・年金・恩給・児童扶養手当・生活扶助・傷病手当金・失業給付金等）をいう。
（#2）給与所得以外とは（自営・外交員・親戚等の援助・内職・不動産・配当・工農林水産・その他の所得）をいう。

就学者を除く家族							⑨ 収入状況（年収）						
続柄		氏名	年令	現在の職業	在職期間	勤務先名	（#1）給与所得等（千円）			（#2）給与所得以外（千円）			
							所得の種類	収入金額	所得金額	所得の種類	収入金額	必要経費	所得金額
	父				年 か月								
		※死亡・生別・退職等の場合（ 年 月 死亡 ・ 生別 ・ 退職 ）											
	母				年 か月								
		※死亡・生別・退職等の場合（ 年 月 死亡 ・ 生別 ・ 退職 ）											
	本人												
						所得金額合計							

一時所得について（申請時までの６か月間の臨時的な所得について記入すること。）
1，退職金　令和　年　月（総額）（　　）円
2，その他　令和　年　月（内容；　　）（総額）（　　）円

家族構成
家族総数（　　）人

就学者											控除金額 千円
続柄		氏名	年令	在学学校名	※設置者		学年	※通学別	※前年度授業料免除状況		
	本人			大阪教育大学	国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）		
					国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）		
					国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）		
					国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）		
					国・公・私	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学		自宅・自宅外	前期（全免・半免・不許可・申請なし） 後期（全免・半免・不許可・申請なし）		

⑩本人の状況
前年度（令和２年４月～令和３年３月）及び今年度（令和３年４月～令和４年３月）受給の給付型奨学金について記入すること。貸与型奨学金は記入の必要はありません。

給付型奨学金					
今年度	名称：	月額　円	年額（　月～　月まで）　千円	合計	
	名称：	月額　円	年額（　月～　月まで）　千円		
	名称：	月額　円	年額（　月～　月まで）　千円		千円
前年度	名称：	月額　円	年額（　月～　月まで）　千円	合計	
	名称：	月額　円	年額（　月～　月まで）　千円		千円

世帯の事情等	
	□ 生活保護受給世帯の子弟
	□ 家計支持者（父母又は父母の代わりに家計を支える者）が全員，住民税（所得割）非課税　【家計支持者　【主（　）／従（　）】） ※家計支持者は「父母又は父母の代わりに家計を支える者」とし，収入の多い方を「主」，収入の少ない方を「従」たる家計支持者とする。
	□ 児童養護施設を退所した（もしくは現在，入所中の）者又は里親委託等にあって大学に入学した者

⑪特別控除（下記の事項の家庭状況に該当する者は，※該当欄に〇印又は記入すること。）

※有 ・ 無	母子・父子世帯（子女が１８歳未満及び６０歳以上で経済力のない祖父母の世帯等【 ※ 母 子 ・ 父 子 】		千円	
※有 ・ 無	障害のある人がいる世帯	【続柄；　，　人 】	千円	
※有 ・ 無	長期に療養を要する人（6か月以上療養中の人，療養を必要とする人）のいる世帯	【※入院・通院・自宅療養】【続柄；　】 【必要経費療養費；１か月平均約　円】	千円	
※有 ・ 無	主に家計を支えている者が別居している世帯（別居による住居・光熱水費）	【続柄；　】	千円	
※有 ・ 無	火災・風水害又は盗難などの被害を受けた世帯	【※火災・風水害・盗難】【災害年月日；　年　月　日】	千円	
※有 ・ 無	父母以外の者で所得を得ている者のいる世帯	【続柄；　】	千円	

学力・単位数	・	所得		控除		総所得		家計評価額		適格 ・ 不適格	全免・半免・不許可

太枠内は大学記入欄